

2007年7月12日

記者会見資料

兵庫医科大学と関西学院大学の学術交流に関する包括協定締結について

兵庫医科大学学長 波田 壽一
関西学院大学学長 平松 一夫

兵庫医科大学と関西学院大学は、ともに兵庫県西宮市に本拠を置く大学として学生や教員の研究学術交流、授業科目の相互提供など教育・研究の充実発展、友好関係の推進を目的とする包括協定を締結し、7月12日、両大学長が協定書に調印しました。

1、両大学の建学の精神

- ・兵庫医科大学は、森村茂樹氏（初代理事長）によって1972年開学、「社会の福祉への奉仕 人間への深い愛 人間への幅の広い科学的理解」を建学の精神として、人間性豊かな医師の育成に取り組んでいる。開学25周年の節目に先端医学研究所や篠山病院、さらに35周年に姉妹校の兵庫医療大学を神戸市に開設するなど総合的医療機関として充実度を深めている。
- ・関西学院は、キリスト教主義教育を建学の精神として1889年に米国人宣教師ウォルター・R・ランバスが創立し、世界に社会貢献する市民の育成に努めている。ランバスは中国・上海で生まれ、米国・ヴァンダビルド大学で神学と医学を修め、再び中国に戻り、蘇州で博習医院を開業、さらに東呉大学の創設にかかわった。東呉大学は後に蘇州大学となり、医院は蘇州大学付属第一病院となっている。

2、包括協定の概要

兵庫医科大学の学生は、関西学院大学の西宮上ヶ原キャンパスで開講している教養的基礎科目を履修し、兵庫医科大学はこれを単位として認定する。

関西学院大学の学生は、兵庫医科大学での医学系科目集中講義並びに兵庫医科大学教員が担当する関西学院大学での医学系開講科目を受講し、関西学院大学はこれを単位として認める。

学術研究交流

関西学院大学理工学部は2009年度に生命科学科を拡充し、生命科学専攻と生命医化学専攻（いずれも仮称）を置く。このうち後者は生物の再生を可能にするメカニズムの解明や脳神経科学など、医・薬学と連携の深い学びを展開することを計画しており、兵庫医科大学との学術交流は関西学院大学にとって大いに期待するものがある。

また、理工学部の中には医学に密接に関係する領域を研究している教室があり、これらの教室との連携は兵庫医科大学にとっても研究推進の大きな力になると考えられる。

3、協定の具体的な項目案

(1) 関西学院大学が兵庫医科大学へ提供する項目

毎週木曜日に開講される教養的基礎科目を対象にする。

受け入れる学生は100人程度。

受講する科目は1人あたり3科目程度とする。

兵庫医科大学生の図書館の利用などは、科目等履修生に準ずる。

(2) 兵庫医科大学が関西学院大学へ提供する内容(検討中)

春学期1科目、秋学期1科目

医学入門、基礎医学、現代最先端医療等について

9月最初の3週間に兵庫医科大学の集中講義を関学生20人程度が受講する。医の倫理、薬害、早期臨床体験等

(3) 学術交流の内容

両大学で具体案を検討中。

4、締結によって見込める成果

兵庫医科大学の学生は、関西学院大学で開講される多様で厚みのある教養的基礎科目を幅広く受講でき、豊かな教養を養うことができる。また、関西学院大学の同世代の若者と交流の機会が生まれ、多様な学生と交流することによって医師として人間的な成長が促され、幅広い教養を身につけた医療人の育成につながる。

関西学院大学は、生命科学科など4学科の拡充計画が進められている理工学部や来春開設する人間福祉学部で医療分野の授業が不可欠になっている。関西学院大学としては兵庫医科大学から科目の提供や講師を派遣してもらうことによって、福祉分野のプログラムに医学分野のプログラムがつながり、「人間理解」と「こころ」と「からだ」をコンセプトとする人間福祉学部の創部の精神に厚みが加わり、少子高齢化社会の福祉政策に新風を吹き込むことができる。

以上